

2019年度 法科大学院

第1期入学試験問題

3時限

刑法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

次の事例における X の罪責について論じなさい。

X は、V (70 歳の女性) の息子ではないのに、息子のよう装って V に電話をし、「仕事で失敗したので、至急、100 万円を会社に賠償しなければならなくなった。ついては、A デパート前で待っているから 100 万円を持参して欲しい。」と申し向けた。V は、自分の息子は海外勤務中であることから電話内容が虚偽だと分かり、近くの警察署に出向いて事情を説明した。V に対応した警察官 P は、V と相談の上、A デパート前に出向き、1 万円札大の新聞紙を 100 枚入れた封筒を持った V に所定の時刻に接近してきた X を詐欺罪の容疑で逮捕した。

(解答は全て解答用紙に記入すること)